

諏訪之瀬島の火山活動解説資料（平成 20 年 3 月）

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

22 日に御岳火口で爆発的噴火が発生しました。

今後も、御岳（おたけ）火口から半径約 1 km の範囲に噴石を飛散させる程度の小規模な噴火が発生すると予想されますので、これらの地域では噴火に対する警戒が必要です。

平成 19 年 12 月 1 日に火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

3 月の活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図 2、図 3）

爆発的噴火が 22 日に 1 回発生しました（2 月：6 回）

噴煙の最高高度¹⁾は 2 日、29 日の 300m（2 月：800m）でした。

・地震、微動の発生状況（図 2、図 3）

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながら、やや多い状態が続いています。A 型地震はなく（2 月：4 回）B 型地震は 35 回（2 月：136 回）でした。また、火山性微動は 17 回（2 月：40 回）発生しました。月合計の微動継続時間は、1 時間 31 分（2 月：43 時間 52 分）でした。継続時間が 1 時間を超える火山性連続微動の発生はありませんでした。

- 1) 2003 年 3 月 28 日以降、噴煙の最高高度は監視カメラによる観測値と十島村役場諏訪之瀬島出張所の報告のうち高い値を用いています。

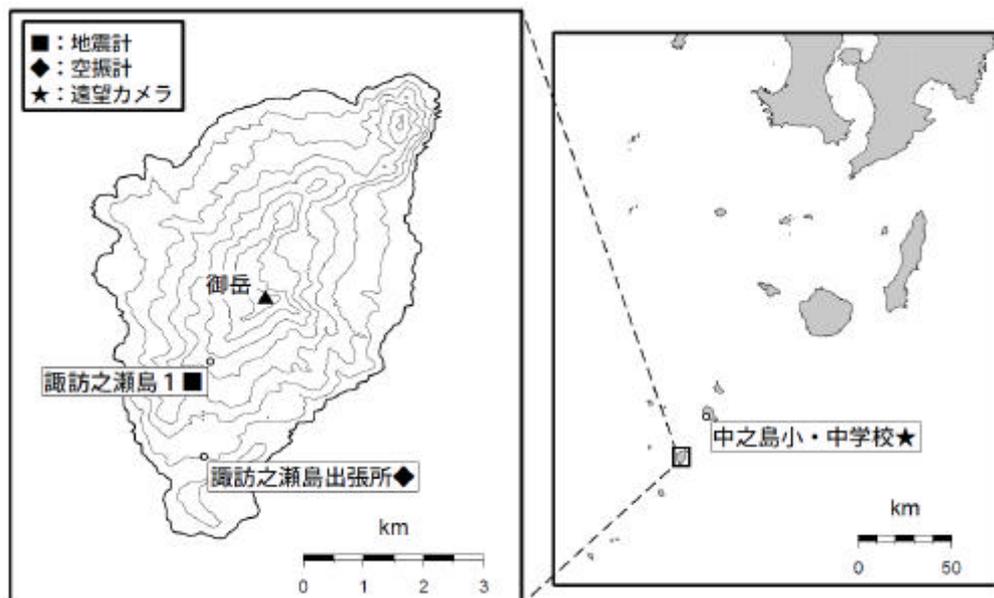


図 1 諏訪之瀬島 観測点配置図

地図の作成に当っては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号：平 17 総使、第 503 号)。
この火山活動解説資料は、気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区气象台ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成 20 年 4 月分)は平成 20 年 5 月 9 日に発表予定です。

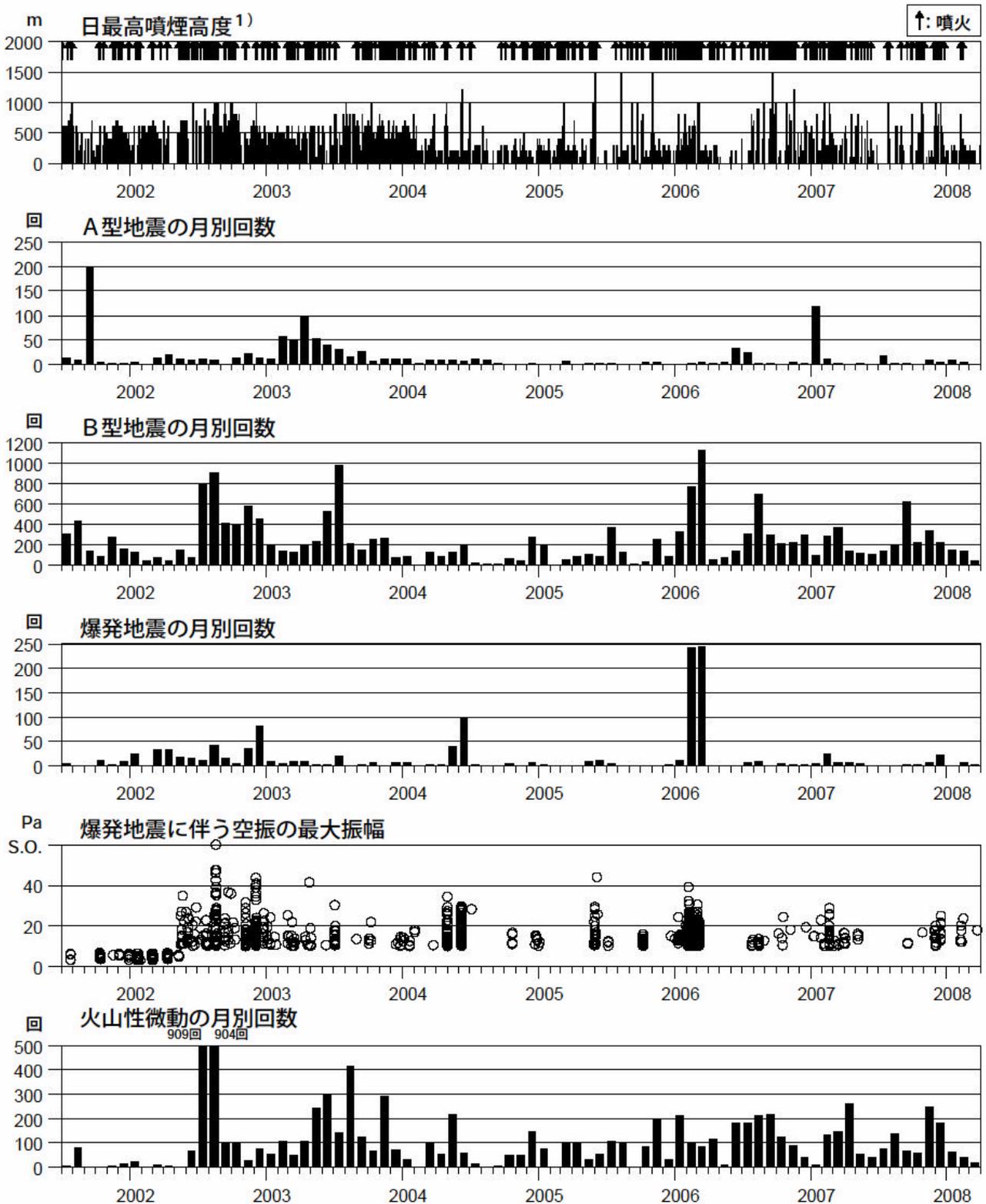


図 2 諏訪之瀬島 火山活動経過図(2001年7月～2008年3月)

- ・爆発的噴火が 22 日に 1 回でした（2 月：6 回）
- ・噴煙の最高高度¹⁾は 2 日、29 日の 300m（2 月：800m）でした。
- ・A 型地震はなく（2 月：4 回） B 型地震は 35 回（2 月：137 回）でした。
- ・火山性微動は 17 回（2 月：40 回）でした。

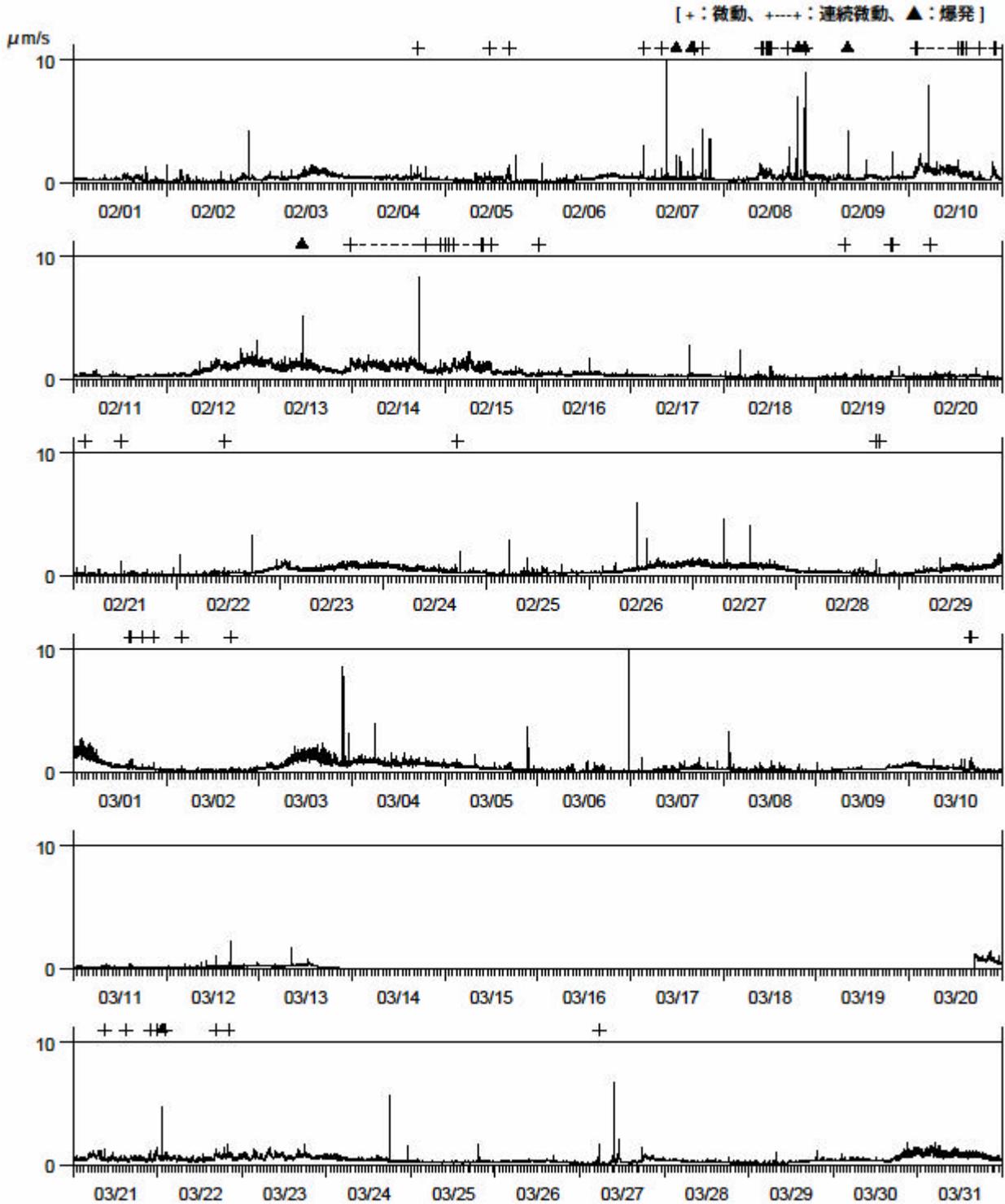


図3 諏訪之瀬島 1分間平均振幅の時間変化（SWA1 上下成分）

（2008年1月1日～2008年3月31日）

- ・爆発的噴火が22日に1回でした。
- ・火山性微動は17回（2月：40回）でした。
- ・火山性微動の月合計の継続時間は、1時間31分（2月：43時間52分）で、継続時間が1時間を超える火山性連続微動の発生はありませんでした。